

広域紋別病院企業団監査委員告示第1号

地方自治法第199条第9項の規定により、令和2年度定期監査の結果を別紙のとおり公表する。

令和3年3月29日

広域紋別病院企業団監査委員 村 井



広域紋別病院企業団監査委員 石 田 久



- 1 地方自治法第199条第4項の規定に基づく定期監査

令和 2 年度

定期監査報告書

広域紋別病院企業団監査委員

定期監査報告書

1 監査の概要

令和3年2月4日から5日までの2日間、新型コロナウイルス感染症対策による立ち入り制限期間であったことから、紋別市役所監査事務局執務室において、令和2年度における財務に関する事務について、広域紋別病院企業団監査基準に基づき、次のとおり監査を実施した。

2 監査の対象

広域紋別病院企業団 事務部（総務課、医事課、経営企画室）

3 監査の着眼点

財務に関する事務の執行が法令に適合し、正確で、最少の経費で最大の効果を挙げるようにし、その組織及び運営の合理化に努めているかを主眼とした。

4 監査の実施内容

事前に提出された監査資料に基づき、業務に支障が生じない範囲で提出を求めた関係書類を抽出により閲覧審査したほか、必要に応じ担当職員から事務の執行状況及び内容等について電話等に確認、又は説明等を受け実施した。

5 監査の結果

上記により監査を実施した結果、おおむね適正に処理されていると認められたが、事務の一部に見られた改善を要する事項については主管課長に講評し、事務処理の適正化を求めたところである。

項目別の指摘、指導事項は次のとおりであるが、軽微な事項については監査の過程において担当者に速やかに訂正を求めたので、本報告書では記述を省略した。

（1）収入事務について

① 調定事務について

収入科目ごとに根拠法令との適合性、算定方法の正確性、調定の時期及び延納理由又は後納理由の妥当性を確認するほか、その他調定事務処理の適否を着眼点として抽出により監査したところ、適正に処理されていた。

② 滞納整理事務について

収入科目ごとに滞納の状況及びその理由と記録、督促の手續等の適否を着眼点として抽出により監査したところ、全体的に取組みが停滞気味である。

【医事課】

(2) 支出事務について

① 給料、報酬及びその他の給付の支出事務について

支給関係規定との適合、申請による手当支給の事実確認等の適否、支給金額の基準等の適否を着眼点として抽出により監査したところ、適正に処理されていた。

② 旅費の支出事務について

所管ごとに用務内容と旅行日数及び人員、日程又は交通機関の変更等による精算手續、必要書類の添付等の適否を着眼点として抽出により監査したところ、適正に処理されていた。

③ 食糧費、交際費の支出事務について

執行基準との適合、交際費支出の証拠書類の内容及び関係書類の整備保管等の適否を着眼点として抽出により監査したところ、適正に処理されていた。

④ 需用費、消耗備品費等の支出事務について

所管ごとに購入の手續、検査又は検収の実施、関係書類の整理状況等の適否を着眼点として抽出により監査したところ、適正に処理されていた。

⑤ 手数料、使用料及び賃借料の支出事務について

所管ごとに役務提供又は使用関係の状況、関係書類の内容及び整備保管等の適否を着眼点として抽出により監査したところ、おおむね適正に処理されていたが、タクシーチケットの使用簿において誤記載が散見された。

【経営企画室】

⑥ 委託料の支出事務について

所管ごとに委託相手の選定方法、委託料の算定基礎及び支出の時期、委託内容の履行確認、全業務の再委託の有無、委託成果物の受領確認等の適否を着眼点として抽出により監査したところ、おおむね適正に処理されていた。

⑦ 貸付金の支出事務について

修学資金貸付について貸付金台帳等の関係書類を抽出により監査したところ、適正に処理されていた。

⑧ その他の予算執行の適否について

その他の予算執行について抽出により監査したところ、適正に処理されていた。

(3) 契約事務について

① 契約方法及び手続について

所管の賃貸借、業務委託の各契約ごとに業者選定から入札（見積合わせを含む。）に至る一連の事務処理について抽出により監査したところ、おおむね適正に処理されていた。

② 契約締結について

所管の業務契約ごとに契約書の記載内容、決裁権限の整合性等を着眼点として抽出により監査したところ、適正に処理されていた。

③ 契約の履行について

所管の業務契約ごとに履行期限の遵守、履行確認等の適否を着眼点として抽出により監査したところ、おおむね適正に処理されていた。

(4) 財産管理事務について

① 公有財産の管理事務について

所管の公有財産の管理状況について取得及び処分の手続、財産台帳の整備等抽出により監査したところ、適正に処理されていた。

② 備品、貯蔵品の管理事務について

所管の購入備品ごとに備品台帳の記載事項に漏れや誤りがないか抽出により監査したところ、適正に処理されていた。

③ 債権の管理事務について

債権管理上の必要事項の把握、債権の保全、適切な記録等について抽出により監査したところ、適正に処理されていた。

④ 基金の管理事務について

基金の効率的な運用、収益の処理、収支の記録等について抽出により監査したところ、適正に処理されていた。

6 意見

今年度の定期監査においては、総じて適正な事務処理が行われているものと認められましたが、財務事務専決事項の運用等について、一部の事務に手続き上の不備等が散見されました。

本年4月に施行された改正地方自治法において内部統制が規定されました。本企業団においては、基本方針策定等の体制整備は努力義務とされていますが、内部統制はリスクに対して予防的措置を準備する仕組みを指し、全ての組織に内在しているものです。

専決事項は内部統制機能を支える柱の一つであり、内部統制を合理的かつ効率的に機能させるべく、関係規定の見直しをも含め検討するなど、事務の効率性とチェック機能強化との両立を図りつつ、より適正に事務が遂行されるよう努めていただきたい。